おうちでたくさん話をしていただけましたか? 家に帰ってギュってしていただけましたか? 4月からちょうど半年。博愛っ子たちの目を見張る成長ぶりに、ただただ感動の1日でした。保護者の皆さんも「あんなに小さかったのに!」「幼かったのに……」と我が子の晴れ姿に胸の熱くなる思いだったのではないでしょうか。少しずつ練習を重ね、楽しみながら、ゆり・ばら組さんは時には歯を食いしばりながら、みんなと一緒に成し遂げた運動会。どの博愛っ子にとっても胸の張れるものとなりました。本園自慢の博愛っ子たちです! そして、そんな子供たちの興味を引き出し、支え、励まし、見守り、常に温かい目をかけ声をかけて保育・教育している職員たちも、我が園の自慢です。競技自体はもちろん、プログラムや用具の完成度の高さを見ても、博愛っ子たちは愛されているなあと感じます。運動会で見せた力を、次からの園生活に生かしていかなければ。保護者の皆さん、うちの先生方にたくさん温かい声掛けをよろしくお願いします。張り切って、これまで以上に、保育・教育活動に邁進いたします! (PTA 会長様のあいさつ、ありがとうございました。) 今後とも、園へのご理解・ご協力を、よろしくお願いいたします。

元気いっぱい・やる気まんまん・笑顔にこにこ! 心を1つに、楽しく 伸びていきます!





しましょう!









前日、用具を何台もの車 にいっぱい積み込んで。手 分けしての前日準備です。 万国旗の取り付けも一苦労 でした。





■ 29 日(金)の中秋の名月(満月)、ご覧になりましたか。その名に 恥じぬ美しさでしたね! その日の給食は「うさぎハンバーグにお月見 ゼリー」。季節を感じる美味しい献立でした。ばら2組さんでは、急遽 お月見セットを作って持ち帰っていましたよ。日本ならではの豊かな 感性。ススキが風になびき、お団子が美味しそうでした。





そんな秋晴れの月曜日、園周辺の田んぼでは**稲刈り**が行われていました。お馴染みの、コンバインの後をシラサギが付いて回る光景も見られました。10月に入った途端、朝晩急に寒くなりました。お布団や衣服の調節をして、**後半6か月も**元気に過ご

「稲刈れば小草に秋の日のあたる」(蕪村) 「稲刈りや鶴の群れ白き秋の空」(正岡子規) ■ 28 日 (木)、ばら1・2組さんは中川副小学校に「ふるさと交流ボランティア」に出かけて行きました。往路は園から歩いて行きました。集会に参加し、1・2年生のお兄さんお姉さんに手を引かれて、落ちているゴミを拾いました。小学生たちは車道側の方を歩き、博愛っ子たちをさりげなく守ってくれていました。復路は園バスがお迎えに。園に帰ってからも「通った道、綺麗になったねえ。」と嬉しそうに話していました。家の中や園の中はもちろん、地域の美化にも目を向けられる大人に育ってほしいです。

運動会の練習の中、結構きつかったと思いますが、とても良い交流が

できました。(落ちているごみはタバコが多かったです。大人が反省しなければなりませんね。) 今度は 20 日(金)に中川副小学校から5年







生(来年度の6年生)が来園しての交流会が予定されています。楽しみです。

■2日(月)、**おはなし会**がありました。今回はたんぽぽ組さんとさくら組さんでした。「かばくんとおとうさん」に加え、たんぽぽ組では「どろんこおばけになりたいな」、さくら組では「ちっちゃなねずみくん」の2冊。しっかりお話を聞いていて感心しました。







■ 3 日 (火)、10 月のお誕生会がありました。出し物では、魔女のマジョマ(網代 光里保育教諭)とジョマジョマ(重村 仁菜 保育教諭)と一緒に魔女スープを作りました。10 月生まれの6人は、ホール内でスープの材料探しをし、みんなで「カレーライスの歌」の替え歌に合わせスープを作りました。出来上がった不気味なスープに、会場内からは「食べたくな~い」という声も。そこで、みんなで怪しげな呪文を唱えて、お誕生日ケーキに変身させました。さて、スープの材料6つは何だったでしょう。また、みんなで唱えた魔女の呪文は何だったでしょう。参加した以上児さんに聞いてみてください。(答えは ↓)









お誕生日メニューは秋野菜のカレー。 キーマなので原型を留めていませんが 人参、なす、さつまいもが入っています。 青りんごのゼリーも美味しかったです。

涼しくなって、思いっきり外遊びが楽しめます。 蒲原先生の笛の合図でちゃんと水分もとりながら。 ちなみに、「学校へ行こう」のひらがな文字は蒲原先 生の手に



